

Sec32-01_セキュリティ対策を確実 にするための人材育成の事業紹介

1. 概要

DXを確実に推進するために不可欠なセキュリティ対策を確実に実施するために、組織内に体系的な知識とスキルを持った人材を育成することが重要

セキュリティ対策を確実にするための 人材育成の事業の概要を紹介する

参考資料

みんなで使おうサイバーセキュリティ ・ポータルサイト

https://security-portal.nisc.go.jp/

インデックスページ

https://security-portal.nisc.go.jp/linkindex.html

改版履歴

2022年1月31日 初版

みんなで使おうサイバーセキュリティ・ポータルサイト:目的から選ぶ!施策一覧(NISC)

https://security-portal.nisc.go.jp/

サイバーセキュリティの基本的なところから知りたい方(NISC)

https://security-portal.nisc.go.jp/c urriculum/dif_pickup01.html

少しわかってきたけどもっと詳しく知 りたい方(NISC)

https://security-portal.nisc.go.jp/c urriculum/dif_pickup02.html

地域で開催されているイベントを知りたい方

https://security-portal.nisc.go.jp/c urriculum/dif_pickup05.html

経営とセキュリティの両方の視点から 学びたい方(戦略マネジメント層)(NISC)

https://security-portal.nisc.go.ip/c

urriculum/dif_pickup04.html 「自社職員にセキュリティレベルを上 げてもらいたい!という方」(NISC) https://security-portal.nisc.go.jp/c urriculum/dif_pickup03.html 講座・イベント (初級・中級) オンラインでのセミナーやイベント、 コンテスト開催(JNSA) https://security-portal.nisc.go.jp/c urriculum/torikumi/jnsa_seminar.h 教材(初級・中級) サイバーセキュリティ経営ガイドライン https://security-portal.nisc.go.jp/c urriculum/torikumi/meti_sec_guide .html サイバーセキュリティ経営可視化ツール https://security-portal.nisc.go.jp/c urriculum/torikumi/ipa_visualize.h tml 情報セキュリティマネジメント試験 https://security-portal.nisc.go.jp/c urriculum/torikumi/keisan_jouhose curity.html 体制構築・人材確保の手引き https://security-portal.nisc.go.jp/c urriculum/torikumi/meti_org.html 地域セキュリティコミュニティ【地域 SECUNITY】形成・運営のためのプラ クティス集 https://security-portal.nisc.go.jp/c urriculum/torikumi/meti_region_se c.html 中小企業等担当者向けテレワークセキ ュリティの手引き(チェックリスト) https://security-portal.nisc.go.jp/c urriculum/torikumi/mic_telework_ chk.html 中小企業向けサイバーセキュリティ対

策の極意ポータルサイト

https://security-portal.nisc.go.jp/c urriculum/torikumi/cybersecurity_ tokyo.html テレワークセキュリティガイドライン https://security-portal.nisc.go.jp/c urriculum/torikumi/mic_telework.h tml 政策 「サイバーセキュリティお助け隊サー ビス」審査登録制度 https://security-portal.nisc.go.jp/c urriculum/torikumi/ipa_otasuketai .html セキュリティ研修データベース(CRIC CSF) https://security-portal.nisc.go.jp/c urriculum/torikumi/cric-csf_databa se.html 「人材定義リファレンス」準拠講座一 覧(セキュリティ担当者) https://cs-edu.jp/reference-security/ 「人材定義リファレンス」準拠講座一 覧(システム担当者) https://cs-edu.jp/reference-engineering/ ガイドライン https://cs-edu.jp/category/type/guideline/ セキュリティプレゼンター制度の運用(IPA) https://security-portal.nisc.go.jp/c urriculum/torikumi/ipa_sec_presen ter.html 3. 自身の年齢層や所属から選ぶ!施策一覧(NISC) https://security-portal.nisc.go.jp/ 組織:中小企業 初級 情報セキュリティ理解度チェック(JNSA) https://securitv-portal.nisc.go.ip/c

urriculum/torikumi/jnsa_rikaidoche ck.html 中級 上級 4. 一般財団法人日本サイバーセキュリ ティ人材キャリア支援協会(JTAG) JTAGとは 2020年設立 前身は、日本ネットワークセキュリテ ィ協会 (JNSA) 配下の情報セキュリテ ィ教育事業者連絡会(ISEPA)内ワー キング・グループ セキュリティ人材が有する能力の可視 化や認証制度を事業として開始する 「サイバーセキュリティ体制構築・人材 確保の手引き」(経済産業省)、「みん なで使おうサイバーセキュリティ・ポー タルサイト」 (NISC) において、「Vi su Me」が紹介されている。 WG活動 キャリアデザインWG セキュリティ業務にかかわる人材の現状調査 JNSAから報告書公開 想定されるキャリアデザインモデルの検討 認定WG 人材のスキルの見える化ツール検討 トライアル結果とりまとめ 見える化された人材の評価 サービス IT総合能力診断サービス「Visu Me」 スキルの可視化により人材の適切な配 置、自身の能力把握を目的としたツー セキュリティ人材が有する資格や知識 をはじめとした能力 (Capability) に とどまらず、ビジネスを行ううえで重 要な行動特性、適性資質(Competen cy) についても可視化 社員のキャリア形成に寄与するだけで なく、人材採用時のミスマッチを防ぐ

情報として活用することを想定。

参考資料

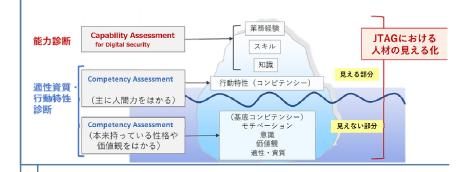
セキュリティ人材スキルの可視化ツー ルならびに企業での活用事例

> http://www.keidanren.or.jp/journa l/times/2021/0318_09.html?utm_ source=pocket_mylist

5. 人材の見える化について

企業における人材の能力や業務遂行力 、それを実現するためのヒューマンス キルやコンセプチュアルスキルなどの コンピテンシーを数値化することは大 変難しい課題

【JTAG財団での人材の見える化の範囲】



(CNET社のモデル

https://static.wixstatic.com/media /5c06dc_1174bcbba5a8447f8377f 44953314d75~mv2.png/v1/fill/w_ 1188,h_435,al_c,q_90,usm_0.66_ 1.00_0.01/%E6%B0%B7%E5%B1 %B1.webp

個人は自身の現在の状態を把握し、業務や職務、役割の代表例(サンプルプロファイル)と比較することで、理想とのギャップである分野を知る

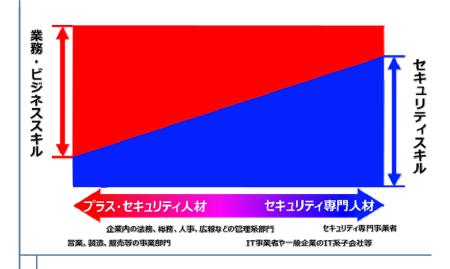
【評価要素】



/5c06dc_ec6df9f51a1445739c183b 21a7231a03~mv2.png/v1/fill/w_9 05,h_441,al_c,q_90/%E8%A9%95 %E4%BE%A1%E6%8C%87%E6% A8%99.webp

技術的要素に偏ることなく広範囲のスキルについて指標を置くことで、多岐に渡るセキュリティ関連業務に対しての適合度や理想像へのギャップの把握など利用用途拡大の可能性

【JTAG財団の定義するセキュリティ人材とは?】



https://static.wixstatic.com/media /5c06dc_4e90ea93ab15468bb9bc4 52914cd70d2~mv2.png/v1/crop/x _14,y_14,w_947,h_551/fill/w_691 ,h_403,al_c,q_85,usm_0.66_1.00_ 0.01/%E3%82%BB%E3%82%AD% E3%83%A5%E3%83%AA%E3%83 %86%E3%82%A3%E4%BA%BA% E6%9D%90%E3%81%A8%E3%81 %AF%EF%BC%9F.webp

企業や組織におけるセキュリティ専門 以外の技術担当者や、総務、法務、人 事、営業やマーケティングなどITを利 活用し本来の業務を担う際に、セキュ リティについて理解を深め自らの業務 に活かしていくことを求められる方々 もセキュリティを維持するための重要 な人材として見える化

「プラス・セキュリティ人材」

自組織内のセキュリティ委員やISMS担当、責任者など、本務以外の仕事としてセキュリティ系マネジメントの役割を担う方々についてもその範囲とする

IT総合能力診断サービス (VisuMe)

アセスメント

Capability Assessment for Digital Security(能力診断)

セキュリティ専門人材だけでなく、プ

フ人・セキュリティ人材に

各分野における業務経験年数と保有資格を入力すると、IT基礎技術領域、セキュリティ技術領域、ビジネス基礎スキルやリスクや事業継続管理のスキル、法制度など事業を推進する上で必要なマネジメント系など、それぞれの領域についてスキルを自動判定

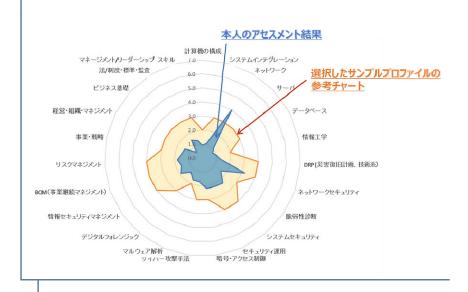
業務や職務、役割の代表例としてサンプルプロファイルを153種類設定し、参考となるスキルバランスを指標化

業務に従事するために向上させるべき スキルとその程度(スキルギャップ) を把握することができる

能力をITSSのレベルに準拠して診断

レベル4相当は社内での第一人者として 認知されており、レベル5以上は、社外 においてもその能力が認知される

【診断結果のイメージ】



https://static.wixstatic.com/media /5c06dc_4d99a3de3d0047bba19a dffba1b466f9~mv2.png/v1/fill/w_ 848,h_511,al_c,q_90,usm_0.66_1 .00_0.01/%E8%A8%BA%E6%96% AD%E7%B5%90%E6%9E%9C%E 3%81%AE%E3%82%A4%E3%83% A1%E3%83%BC%E3%82%B8.we bp

Competency

Assessment(適性資質・行動特性診断)

適性資質診断・ビジネスコンピテンシー診断を実施

適性資質診断

一人一人の性格・価値観(個性持ち味)

外向的か内向的か、環境への順応の高い人材か自己実現意欲の高い人材か等、波系の形・片寄り方向、座上軸の数値で詳細に把握が可能

ビジネスコンピテンシー診断

ハーバード大学教授ロバート・カッツ の「コンピテンシーモデル」を応用し 、ビジネスパーソンに必要な5つの能力 から総合的な能力を診断

「テクニカルスキル」

「ヒューマンスキル」

「コンセプチュアルスキル」

「社会貢献性」

「自己成熟」

参考:ビジネスコンピテンシー診断の評価軸

ニューマンスキル				
Vo.	項目名	No.	項目名	
1	実行力 (行動力)	11	イノベーション	
2	主体力 (主体性)	12	謙虚	
3	自身	13	責任感・(使命感)	
4	本質を見極める力(洞察力)	14	誠実さ・言行一致	
5	モチベーション(意欲・やる気)	15	ビジネスセンス	
6	勇気	16	先見性(未来を見る目)	
7	決断力	17	想像力	
8	情熱	18	大局観	
9	信頼感	19	リーダーシップ	
10	ポジティブシンキング	20	影響力	

ビジ	ビジネスコンピテンシー					
No.	項目名	No.	項目名			
1	Bizリーダーシップ	13	Biz概念化傾向			
2	Bizマネジメント	14	Biz大局観			
3	Bizコミュニケーション	15	Biz将来予測(先見性)			
4	Bizネゴシエーション	16	Biz変革・革新 (イノベーション)			
5	Bizロジカルシンキング	17	Biz顧客志向			
6	Bizクリティカルシンキング	18	Biz傾聴			
7	Bizコーチング	19	Biz委任			
8	Bizプレゼンテーション	20	Biz人材育成			
9	Biz倫理観	21	Biz情報収集・整理・分析			
10	Biz目標設定・計画立案	22	Biz価値創造			
11	Biz戦略思考(戦略策定)	23	Biz具現化			
12	Bizプロジェクトマネジメント					

変化の激しいセキュリティ業界では、 常に自分の知識・スキルを向上させ、 プロアクティブな自律型人材が求めら れる

仕事で「成果」に繋げるためには、 経験や知識・スキルに加えて、 **コンピテンシーの継続的な発揮と向上**が必要



Competency Assessment : 継続的に個人と組織の成長度合いを確認

自己理解を深め、 今後の自分自身の成長・キャリアアップ に繋げることが可能



- ・総合的・多面的に社員の能力を把握 ・診断結果を参考にし、 科学的な人材育成や組織づくり、 タレントマネジメントが実現可能
- # # 企業・組織